

## 上流は下流を思い、下流は上流に感謝する交流・連携を！

☆9月25日(日)午後1時半開場、2時から「ソーネ・おおぞね」ホールで、みん・みんの会の第12回総会を開催します。会員の皆さん、ご参加ください。

続いて、午後3時前後から木曽川上下流交流・連携の集いを行います。

\*ソーネおおぞね：大曾根駅下車、徒歩10分。名古屋市北区山田町2-11-62 大曾根住宅1棟1階\*

総会では①2021年度活動報告 ②2021年度会計報告(収支決算) ③「木曽川流域水源の里基金」の報告と今後の運用について ④2022年度活動計画 ⑤2022年度予算など、報告・提案します。

午後2時半前後から木曽川上下流交流・連携の集いを行います。

はじめに、ペシャワール会名古屋・会長の五井泰弘さんから「アフガンを緑の大地に」「武器で平和は作れない」と「現地の人びとの立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと」を40年近く行ってきた中村哲医師の「生き方」とアフガニスタンの現況を語っていただきます。

続いて、日進市議・山根みちよさんに5市町で作られている愛知中部水道企業団の1トン1円の取り組みや木祖村との交流・連携を発題していただきます。そして、質疑や話し合いを行います。

参加費は資料代などで800円です。よろしくお願ひします。(事務局)

## 「かけがえのない地球」のために、“争いをしないこと、話し合いで解決すること”

「かけがえのない地球」が壊されています。戦争は最大の自然・環境破壊です。人を殺すな！生き物を殺すな！コロナ感染症に終わりが見えません。地球温暖化、気候変動は、甚大な影響を世界中に引き起こし続けています。異常気象、干ばつ、海水温の上昇、豪雨洪水、氷山の消失…、地球の暮らす人びとが一緒になって、取り組まなければならないことは、言われ続けてきました。地球は人間だけのものではありません。

私たちは“上流は下流を思い、下流は上流に感謝する”を合言葉に、木曽川流域の上下流交流・連携を目的にして、今日まで活動してきました。「川は、生命(いのち)のつながり」です。

「かけがえのない地球」と宣言したのは1972年のストックホルムで開かれた国連人間環境会議でした。それが1992年のブラジルのリオ・デ・ジャネイロでの国連環境サミット(地球サミット)につながっていきます。この会議でカナダの12歳の少女、セヴァン・スズキさんは「伝説のスピーチ」を6分間行いました。「…『争いをしないこと』『話し合いで解決すること』『他人を尊重すること』『他の生き物をむやみに傷つけないこと』『分かち合うこと』『そして欲張らないこと』…、なぜあなたたち大人は、私たち子どもに『するな』ということ、自分たちはしているのですか…」と。

「かけがえのない地球」を次世代に、私たちは渡していけるのでしょうか。地域、流域での暮らしの中で、問い、考え、つながりあって、“無事な社会”のために行動していきましょう。

私たちは“上流域に出かけ、上流域のモノが下流域に動き、お互いのココロが動く”関係が積み重なっていく木曽川上下流交流・連携をこれからも取り組んでいきます。ご支援・お力添えをよろしくお願ひします。(事務局)

## 今年も飛騨川沿い・七宗町の「豆釜匠」(飛水食品)に行ってきました！

5月3日(火・祝)、「緑と清流の里」の岐阜県七宗町に行ってきました。この日に毎年恒例の赤池弁財天祭りの祭列は、コロナ対策として縮小して実施された関係で、私たちは参加できませんでした。今回も知合いの人との交流は、残念ながらできませんでした。

飛騨川沿いの国道41号線を北上したところにある「豆釜匠」(飛水食品)の渡邊昇さんと語り合ってきました。お店は、今春に大きく改装されて、ビックリ！

渡邊さんにいろいろと精力的に取り組んでいる原動力は何ですか、と聞きました。「交わること、人と会うこと」「つながりあうことが大事」などと話されました。

今回もこだわりのモノづくりをじっくりと営む渡邊さんと楽しく、力添えをいただいたひとときを過ごしました。帰りに飛騨川の流れが作り出している飛水峡・颯穴(おうけつ)を見学しました。(かわさき)

## 今年度は木曽青峰高校インテリア科3年生5人が木製玩具づくりへ

私たちは木曽川流域水源の里基金の運用として、木曽青峰高校インテリア科に木製玩具やベンチづくりを依頼しています。今年度は3年生5人の男子生徒が木製玩具づくりを始めてもらっています。7月1日（金）の午前9時45分過ぎに、名古屋市科学館の山田さん、木曽広域連合地域振興課の奥牧さんと一緒に、インテリア科の山下先生と5人の生徒さんと話し合ってきました。名古屋市科学館2階にはウディプレイランドがあり、親子が木製のおもちゃで楽しみながら遊ぶ場所があります。そこに、2013年度からインテリア科の3年生が毎年作品を贈呈してきました。作品は28点になっています。発想が柔らかくユニークで毎年驚き、感動しています。秋ごろには、科学館の親子が遊んでいる現場を生徒の皆さんに見てもらって、一層イメージや創造力を豊かにしてもらえたらと考えています。

2022年2月18日に、コロナの影響のためオンラインで名古屋市科学館にインテリア科3人（女子2人、男子1



くみかえたまころがし（材質：サワラ・ヒノキ） 双眼鏡風万華鏡（材質：ブナ） 上げ下げ障害物（材質：ブナ）  
人）の木製玩具（写真）の贈呈式を行ないました。

「木曽川流域水源の里基金」は会員の皆さんからカンパや木曽川、飛騨川上流地域の生産品を下流域の人びとが名古屋生活クラブを通じて購入して、その売り上げの2%を基金に積み立てています。水源の里基金の仕組みを担っている名古屋生活クラブは、会員販売として安全・安心な自然食品、有機農産物などを行なっている会社です。

2023年の2月中旬か下旬、科学館に贈呈することになります。楽しみです！（事務局）

## 木曽町「春の蔵開き」を3年ぶりに開催

2年間中止していた、念願の「春の蔵開き」を4月16日、町内2件の酒蔵（七笑酒造様、中善酒造様）と同日開催することが出来ました。

感染拡大の恐れがあったので、県外の皆様にはあまりお知らせすることも出来ず、宣伝も県内のみでの催しでした。そしてコロナ以前は蔵の中を開放して味噌玉や糍室を見学していただくのですが、今年は店先での販売のみになりました。当店の味噌や甘酒と共に、町内の『茶房松島』の味噌フィナンシェ、『タビタのパン』の味噌ラスク、『プルマン』の味噌甘食、そして当店から徒歩1分の『お菓子処田ぐち』では味噌ジェラートと当店の味噌を使ったパンやお菓子などが並びました。

長年当店の糍を使ってきている、岐阜県中津川市のこうじキッチン『こぎちゃん』の塩こうじ、醤油こうじや甘酒で調理したお弁当100食はあっという間に完売しました。

桜が咲き、春の陽気の中、私達の予想をはるかに超える沢山の方々が足を運んでくださいました。何年かぶりの蔵開きイベントでしたので、色々な方々とお話が出来たことが大変嬉しかったです。来年は県外の皆様にもお越し頂けますようお願いしています。





今回の蔵開きに「中夢楽座」(なかむら座)が太鼓の演奏(写真)をしてくださいました。メンバーの1人が長年の友人ということから実現しました。中夢楽座は主に松本で活動している4人組で、コマーシャルにも出演されたりしている本格的なグループです。



2つの酒蔵と当店の隣の市民タイムズ駐車場、それぞれの場所での3回の演奏でした。

太鼓の響きを聞いて「小池のお祭りかい?」と出ていらしたご近所さんたちもリズムに合わせて手拍子。「こんなに楽しいのは久しぶりだあ」と喜んでいました。木曽谷に息ピッタリの大迫力な太鼓の音が響き、イベントもよりいっそう盛り上がりました。(小池糰店 唐沢 裕之)

## 木曽の手仕事市～宿場町のクラフトフェア～

第15回『木曽の手仕事市』が9月3日(土)、4日(日)に開催されます。



宿場町のクラフトフェアといわれていて、町全体が会場になるのが特徴です。街角、空き家等に全国から大勢の工芸作家さんが出店します。

毎年夏に行われていましたが、第13回、14回はコロナ感染症の影響で中止になってしまいました。第12回では190人の出店(写真)でしたが、今年は室内展示スペースを使わない等の感染対策を講じて150人前後の工芸作家さんの出店予定です。

染色や陶芸、木工、ガラス細工など、ジャンルは幅広く誰でも楽しめるようになっています。また、地元の太鼓グループや手づくり楽器の演奏、木曽出身や在住のシンガーソングライターのステージ等のアトラクションもあります。

古い街並みを散策しながら、木曽を満喫出来ると毎年たくさんのお客様にいらしていただいています。

皆様も是非この機会に木曽へいらしてください。お待ちしております。思わぬ掘り出し物に出会えるかもしれません。(小池糰店 唐沢 尚之)

### 映画紹介

## 入管の実態を暴き出す、ドキュメンタリー映画『牛久』

### 収容所での生々しいやり取り、収容者に対する人権意識の欠如

名古屋入管に収容中だったウィシュマさん(33)が亡くなって1年以上が経った。体調悪化にも関わらず適切な医療処置を行わず死亡させた罪は大きい。日本の入管の収容措置は、施設内で非人道的な対応が常態化していると言われてきたが、その実態は可視化されてはこなかった。

そこで皆さんに紹介したいのが、ドキュメンタリー映画『牛久』(2022年)である。アメリカ人のトーマス・アッシュ監督が、茨城県牛久市にある東日本入国管理センターに不当に長期拘留されている外国人7人と面会し、懐に忍ばせたカメラで隠し撮りをした衝撃のドキュメンタリーだ。

収容所での生々しいやり取り、電話による緊迫した訴えなど、当事者たちの切実な声で入管の実態を暴き出していく。収容者に対する人権意識の欠如は「おもてなし」の心などこれっぽっちもないことが白日の元に晒される。中でも入管職員が、たった一人の収容者を数人がかりで地面に押さえつけ、延々と同じ言葉で怒鳴り続けるシーンは背筋が凍る。これが施設側が撮影したビデオの開示資料というから二重の驚きである。

私は今年の3月シネマスコーレで鑑賞した。衝撃の映画だった。当日は、監督、映画に登場するナオミさん、立憲民主党の石川大我参院議員が登壇、映画で描かれなかった実態も知ることが出来た。4月には立憲民主党主催で国会内において上映されるなど、広がりを見せている。機会があったら是非！ (事務局 三田)

## 今年もみんな・みんな楽作隊 大豆作り・味噌づくり が始まりました

5月28日に大豆と黒豆の種まきを行い、6月18～19日に育った苗の定植を行いました。

黒豆の苗が一部発芽不良でしたが、笹川さんから苗を分けていただき、大豆と黒豆を無事に定植することができました。

そのほかポップコーン、かぼちゃ、落花生、サニーレタスの苗を少量ずつ植え、楽しみを広げています。

日中は日差しが暑いながらも、日陰に入れば下界とは大違いで清々しい風が吹き抜けます。日が傾けばいっそう気持ちよく作業もはかどります。

7月16～17日は草取りを行いました。

7月30～31日は小池糞店での味噌の天地返しと畑の草取りを行います。

8月27～28日は草取り、9月下旬は稲刈り体験を予定しています。

10月22～23日には大豆と黒豆の収穫を予定しています。楽しく大豆の束を抱えてみませんか？

昨年の異常気象や高温障害、土壌の湿潤害などに見舞われて、収量がかなり落ちてしまいました。今年は何のくらいの収量になるのか分かりませんが、今のところ順調に育っていて楽しみです。

皆さんの参加をお待ちしております。(近藤)



☆「みんな・みんな楽作隊」への参加、木祖村の畑の作業に参加希望の方は 近藤 (090-4150-6156) までご連絡ください。日帰り参加も歓迎です。

### <お知らせ>

☆3年ぶりに第48回木曾音楽祭開催：8月26日(金)、27日(土)、28日(日)の3日間にわたって、木曾町の木曾文化公園ホールで行われます。問い合わせ先は木曾音楽祭実行委員会 電話 0264-21-1222

☆今池まつり開催：9月18(日)、19日(月・祝)の2日間、名古屋市千種区今池一帯で繰り広げられます。

### <新年度会費をお願いします>

みんな・みんなの会では、2022年6月から2023年5月末日が、2022年度の期間です。会員の皆さんの会費やカンパなどによって、みんな・みんなの会の活動は支えられています。本年度の会費納入をお願いします。

2008年9月に第1回の「水源の里を守ろう 木曾川流域集会」の開催に始まり、木曾川流域水源の里基金の設立や「木曾川流域図」作り、そして、大豆作り・味噌造りなどを取り組んで今日に至っています。

木曾川上下流交流・連携をゆっくと持続的に一層進めていきます。皆様のご支援、ご協力をお願いします。

---

## 水源の里を守ろう 木曾川流域みんな・みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 斎藤事務所気付  
TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 mail: suigennosato@gmail.com